

はじめに ～北海道グローバル戦略について～

1 策定趣旨

- ・ 情報技術の革新や交通網の発達等に伴い、一つの地域の現象や取組が国境を越えて世界全体に影響を及ぼす、いわゆるグローバル化の流れが急速に進展
- ・ 国連も「持続可能な開発目標（SDGs）」を採択するなど、グローバル化の時代における持続可能な社会づくりに向けた取組を世界規模で推進
- ・ こうした中、本道が将来にわたり輝き続けていくためには、グローバル化の流れをしっかりと見極めながら、「世界の中の北海道」として、的確かつ迅速な対応を進めていくことが重要
- ・ このため、新たに本戦略を策定し、今後、北海道がめざす姿を道民の皆様と共有しながら、食や観光といった経済分野、教育、文化等の取組を連携させるなど、戦略的・効果的に国際関連施策を展開

2 推進期間

北海道総合計画の終了年である2025年度まで（中間年の2021年度をめぐりに適宜見直し）

I 現状

1 北海道を取り巻く世界情勢

- ・ グローバル化の進展に伴い、ASEAN諸国をはじめとする新興国の経済成長や世界的な経済統合の動きが加速するなど、本道を取り巻く世界情勢は急速に変化
- ・ こうした流れは、海外からの観光客の増加や企業の海外展開の広がりなど、本道にプラスの効果をもたらす一方、テロや政情不安といった海外の様々なリスクが、本道に直接影響を及ぼす可能性も有しており、刻々と変化する世界情勢を的確に把握することの重要性が増加

- 世界的な市場の拡大、中間層の増加
- 自由貿易、経済統合の進展
- 多様なリスクの顕在化、不透明感の増大

今後もグローバル化は急速に進展

- ・ 世界情勢は一層複雑化、不透明化
- ・ 市場獲得競争は更に激化、人材の流動化も拡大
- ・ 情報技術革新のスピードが加速

2 北海道の現状と、今、求められているもの

【現 状】

- ・ 北海道は、一国に相当するGDPや人口など、世界レベルの高い潜在力を有する
- ・ 近年、アジア諸国を中心とした認知度の向上を背景に、海外からの観光客や食品輸出額が急増

【今、北海道に求められているもの】

グローバルな視点を意識し、世界の潮流をしっかりと見極めながら、本道と世界との強いつながりを活かし、複雑化する世界情勢に的確に対応

- 世界の成長力を着実に取り込み、地域経済の活性化を促進
- 人材交流や多様な文化の共存に向けた環境づくりの推進
- 世界情勢の変化への的確な対応

あらゆる取組を進める上で
グローバルな視点が不可欠

3 世界に通用する北海道の「ちから」

本道には、豊富な食や優れた自然環境をはじめとする、本道ならではの世界トップレベルの「ちから」が数多く存在

II 展開方向

1 北海道をめざす姿

グローバル化に伴う様々な影響を考慮しながら、道内経済や地域社会の活性化を図るため、「世界中の北海道」として本道が中長期的に進むべき将来の方向性を「めざす姿」として明らかにし、道内の行政、企業・団体、道民の皆様と共有

めざす姿

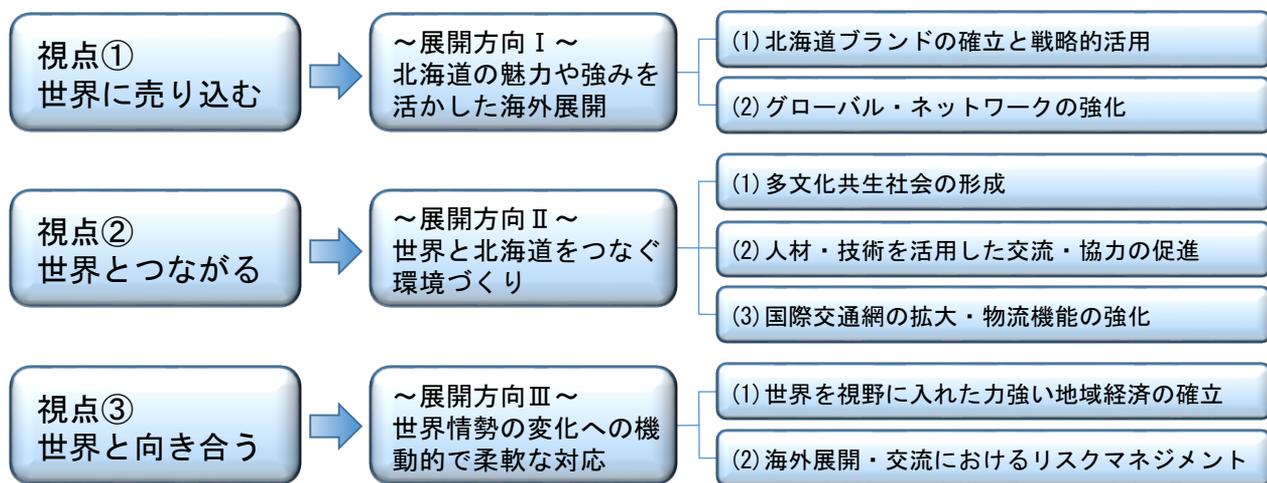
世界をより身近に、世界を舞台に活躍



2 3つの視点と展開方向

「めざす姿」の実現に向け、「世界に売り込む」「世界とつながる」「世界と向き合う」の3つの視点に立ち、食の輸出や観光振興、投資促進、路線誘致、技術交流、友好交流、国際貢献、文化・スポーツ交流などグローバル化に対応した取組を機動的かつ柔軟に推進

3つの視点



取組の方向性

展開方向Ⅰ：北海道の魅力や強みを活かし、海外の成長力を取り込み、活力ある地域づくりにつなげる

展開方向Ⅱ：多文化共生の推進、人材の育成、海外との交流拡大など、北海道が世界とより身近になるよう環境づくりに取り組む

展開方向Ⅲ：本道の国際競争力やリスクマネジメント力の向上を図り、大きく変化する世界情勢に機動的かつ柔軟に対応する

III 施策の推進

・本戦略に基づき、国際関連施策を総合的に推進（庁内プロジェクトチームの設置、関連事業・推進状況の取りまとめ）

* 各分野における具体的な施策の推進管理は、原則、個別に策定している特定分野別計画等で実施

（その他参考）

- ・関連指標：本戦略に関連する北海道総合計画の指標
- ・持続可能な開発目標（SDGs）：SDGsの概要等

※このほか、資料編（国際関連施策一覧、データ集）を別途作成 * 毎年度ローリング